

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



 戌年企画  
**ワンだふるファミリー**～  
～川東のアイドル犬チロと鈴木孝雄さん～  
(紹介は10ページ)

2018.8  
No.  
**538**



# 70周年の想いを込めて 農・力・全・開!!

第13回  
組員交流会

## JA TOKORO FARMERS FESTA 2018

6月23日、第13回組員交流会『JA TOKORO FARMERS FESTA 2018 ～70周年の想いを込めて農・力・全・開!!～』がJA玉葱選別工場特設会場で開かれました。

組員交流会は、青年部が企画立案の中心となりJAと共催で集団長会、女性部、4Hクラブの協力のもと「管理作業が一段落した時期に、地域や世代間を超えた交流を図ろう」と開かれているものです。

当日は、組員家族、関係機関、職員合わせて前年を超える合計446人が参加し交流を深めました。

所<sup>なみ</sup>尚<sup>お</sup>玄<sup>けん</sup>青年部長の開会挨拶、川上和則組合長の主催者挨拶後、70周年を記念し、来場された皆さまの健康や幸福を祈願して、来賓・役員による鏡開きを執り行った後、中島賢人4Hクラブ会長の乾杯の音頭で交流会はスタートしました。

また、来賓の武部新衆<sup>たけべ</sup>議員、船橋賢二、塚本敏一<sup>つかもと</sup>両北海道議会議員、辻孝宗<sup>つじ</sup>常呂自治区長から祝辞を頂きました。

縁日コーナーでは、綿菓子やポップコーン、輪投げ、ストラックアウト、小豆生産組合からオリジナルたい焼き『ハッピーあんこストーン』、株式会社やよいサンフーズからはコロケが提

供されました。また、70周年記念事業として当JAで購入したピザ釜を使用した、女性部、4Hクラブによるピザの調理・配布、ジャンボ鉄板焼きそばが振る舞われ大好評でした。

青年部が考案した地区対抗競技『綱引き』では、熱戦が繰り広げられました。決勝戦では、共立地区が僅差で優勝し、賞金とトロフィーが贈られました。

続いて北見市で農業を営みながら、シンガーソングライターとして活躍する遠藤正人さんによるライブショーが行われ、甘い歌声に観客の皆さんは魅了されていました。

今年のお楽しみ抽選会では、JA創立70周年を記念して『JA賞70本』『目玉賞品7本』と抽選会の賞品数を大幅に増やしました。会場の皆さんは、読み上げられる番号に一喜一憂し、抽選の度に歓声が上がりました。

最後は、江田哲副組合長の一本締めで交流会は閉会となりました。

農作業の合間のひとときを参加者は交流を深め、間近に控えた収穫作業前に英気を養い、交流会は大盛況の内に終了しました。

企画・運営にあたった青年部員をはじめ、女性部・4Hクラブの皆様、大変お疲れ様でした。



来賓・役員による  
鏡開き



武部議員から祝辞



所部長による開会挨拶



川上組合長による開会挨拶



4Hクラブ・中島会長による乾杯



  
**4Hクラブ  
ジャンボ焼きそば**



**女性部  
焼きそば  
取り分け**



**小豆生産組合  
たい焼きづくり**



**4Hクラブ  
ピザ作り**



**ポップコーン**



**輪なげ**



**ストラック  
アウト**



**わたあめ**



**餅まき**



**コロッケ  
& 肉餃子**



# 50年を振り返りさらなる発展を

## 常呂町玉葱振興会設立50周年記念式典

常呂町玉葱振興会（泉直喜会長）は6月29日、網走市の網走湖荘で「常呂町玉葱振興会設立50周年記念式典」を開き、会員及び各荷受市場を始めとした来賓を含め、87人が出席しました。

開式に先立ち泉会長は「昭和38年に玉葱の栽培が始まってから、現在に至るまでの間、異常気象による災害や供

給過多による産地廃棄、また品質の高位平準化を目指した取組による苦勞など様々な経験をして参りましたが現在の玉葱振興会があるのは、当会の礎を築いて頂いた諸先輩方を始め、農協・各関係機関・各荷受市場の皆様の「尽力のお蔭と感謝申し上げます」と挨拶が述べられました。

続いて行われた感謝状贈呈式では、泉会長より、歴代会長（向井裕志氏・齊藤隆氏・清井俊幸氏）と歴代事務局代表（鈴木英夫生産部長）に永年の功績を称え、感謝状と記念品が贈呈されました。

引き続き来賓を代表し、当JA川上和則組合長、ホクレン北見支所青果課大内将史課長、高松青果株式会社齊藤良紀社長より祝辞を頂き、川上組合長からは「現在に至るまで玉葱振興会は様々な苦勞をしてきたと思いますが、これからも玉葱振興会一丸となって常呂町農業を盛り上げていって欲しい」と祝辞が述べられました。また、式典終了後には、横浜丸中青果株式会社吉田裕司執行役員による、「玉葱の流通について」と題した記念講演が開催さ

れました。講演の中で吉田執行役員から道外の新産地や輸入玉葱などの情勢についてのお話がありましたが「消費地では道産玉葱への通年安定供給への期待が大きい」とも述べられました。

記念講演終了後には、来賓を交えて懇親会を開催し、意見交換を交えながら盛況下の内に終了致しました。

式典参加者からは「過去から現在に至るまでの苦勞を再確認することができ、今後も消費地へ高品質玉葱を供給していきたい」と述べられました。



横浜丸中青果株式会社の吉田執行役員による記念講演も行われました



歴代会長である清井さん(右)の感謝状を読み上げる泉会長(左)



設立50周年記念式典に出席した会員と関係者の皆さん



# 冠水被害防止に期待！

## 岐阜ポンプゲート小規模排水機場修祓式

岐阜幹線排水組合（内藤貴之組合長）は6月29日に岐阜ポンプゲート小規模排水機場の完成を祝う修祓式を開きました。式には武部新衆議院議員をはじめ多くの来賓や関係者ら約60人が出席し、内藤組合長は「次世代にも安心して農業を営む環境を受け継ぐことができる」と式辞を述べました。

平成23年9月の豪雨災害により、甚大なる冠水被害で大きな農業被害が



▲上:上空から見る排水路と排水機場

▲左:式辞を述べる内藤組合長



完成の祝いと安全を祈願して修祓式が執り行われました

近年は、予想を超えるような豪雨に見舞われることも珍しくなく、祝辞の中で当JAの川上和則組合長は「岐阜ポンプゲートの設置及び岐阜幹線排水路が整備されたことは、長年、水害との戦いであった地域の悲願であり、生産性の向上と農業経営のより良い安定に寄与するものと大きな期待を寄せております」と述べられました。

# 早取肥料共同自己引取りを実施

JAとこる青年部

JAとこる青年部は、7月2日～7月12日までの期間、早取肥料の共同自己引取りを実施し、肥料の受入れやパレットへの積み替え作業を行い、各生産者への自己引取りを実施しました。この事業は、青年部による肥料推進活動の一環として昭和60年から行われている歴史の長い取り組みです。自己引取りでは青年部各支部単位で行い、総重量2,460tもの肥料が各戸へ引き取られました。



富丘地区による肥料積み替え

# 猟友会射撃講習会

北海道猟友会北見支部主催の第6回担い手発掘安全射撃講習会(競技会)が6月24日、北見国際クレー射撃場で開催されました。

講習会では豊川地区の清尾雅人さん、富丘地区の土田貴千さんを含む52人が参加し、腕を競いました。

クレー射撃は、空中に放たれたクレーと呼ばれる素焼きの皿を、散弾銃で撃ち抜き、得点を競う競技です。放たれるクレーは、通常のオレンジ色の他に、パウダーが仕込まれたもの、白鳥を意味する白いクレーの3種類があり、パウダー入りクレーはボーナス加



得点の高いパウダー入りクレーに命中(土田さん)

点、白いクレーは減点といったルールで2種目の総得点を競います。結果はAクラス(シエントルマン・上下銃の部)で清尾さんが6位入賞、土田さんが12位と好成績を収めました。会場は一般開放されており、当日は射撃大会の見学やシミュレーター体験、エゾシカカレーの無料試食会などが行われ、一般市民で賑わいました。



# 焼肉で仲間との交流を！

玉葱振興会 夏季交流会

常呂町玉葱振興会（泉直喜会長）は7月3日、森林公園で夏季交流会を開き、会員と家族、合わせて43人が参加しました。

予定していたパークゴルフ大会は、残念ながら雨天のため中止となりましたが、午後からは予定通りの焼肉ハウスで懇親会を開きました。

懇親会では、ビンゴゲームも行われ、会員の交流が図られました。



上：開会挨拶をする泉会長  
下：焼肉を囲んで交流が行われました

# 焼肉を通じて意見交換を！

加工馬鈴薯生産組合 フィールドデー

常呂町加工馬鈴薯生産組合（林健志組合長）フィールドデーが7月5日、森林公園を会場に、生産組合員と家族、カルビー㈱・カルビーポテト㈱の2社、合わせて66人の参加のもと開かれました。

当日はあいにくの雨で、パークゴルフは中止となりましたが、午後からは予定通りの焼肉ハウスで懇親会を開きました。ビンゴゲームを行い、豪華景品が贈呈されました。



上：開会挨拶をする林組合長  
下：ビンゴの景品を手にする野村考徹さん

# 農林水産省職員との

# 営農に対する相互理解

農林水産省職員ファームステイ事業（JAところ青年部）

JAところ青年部（所尚玄部長）は6月26日～28日、オホーツクJA青年部協議会で行っている農林水産省職員ファームステイ事業で、農林水産省職員を受け入れました。

この事業は、農林水産省の実務担当職員をオホーツク管内に招き、地域農業実習や青年部との意見交換などを通じて、管内営農における課題や農業政策の実態について相互理解を深めることを目的に行っております。

今年は同時期に管内4JA青年部で受け入れを行い、4人の職員が管内へ来訪され、当青年部では、経営安定対策室に勤務する西田旬職員を受け入れました。

期間中は降雨のため、圃場内での農業実習はできませんでしたが、部員宅の倉庫にあるトラクターや農業機械を見るや、その大きさに驚嘆していました。

また、JA施設を視察した際には、カーリングホール見学や平昌オリンピックメダリスト宅への訪問など、常呂町のホットな話題にも触れて頂きました。



上：ファームステイ事業に参加した皆さん（右から4人目が西田職員）  
下：積極的に意見交換が行われました



# 日本を守る精鋭たちを学ぶ

フレッシュミセス部会の夏季視察研修に20人が参加

フレッシュミセス部会（今橋さやか部会長）は6月26日、部会員19人と農業研修生の森脇さゆりさんの20人が参加し、美幌方面へ夏季視察研修を行いましたので、研修要点を報告します。

今回訪れたのは、陸上自衛隊美幌駐屯地です。

美幌駐屯地史料館の北辰館で渉外広報班の多田幸司一曹より美幌駐屯地の歴史について説明があり、当時の様子がわかる写真や軍服、武器などを見せいただきました。

美幌駐屯地は、当初、美幌海軍航空隊として開隊されましたが、戦時中に解隊。昭和25年に、一部の建物で国立療養所として開設された頃、時を同じくして警察予備隊として発足しました。

昭和27年、警察予備隊は保安隊に改称、第6連隊が創設。昭和29年7月に陸



多田一曹(左)から説明を受ける部会員の皆さん



視察研修に参加した皆さんで敬礼

海空自衛隊が発足し、美幌部隊は陸上自衛隊美幌駐屯地となりました。また、外では同班の飯田憲一陸曹に装甲車について説明して頂きました。

次に訪れたのは、雄大な景色が臨める美幌峠。ここでは、昼食をとった後、各々で景色を楽しみました。

景色を楽しんだ後、道の駅「摩周温泉」へ。ここは、足湯が楽しめるほか、特産品販売所やギャラリーなどがあり、部員たちは、ゆっくり館内を散策しました。

今回の夏季視察研修は、天候にも恵まれ、部会員同士の交流をより一層深めることが出来た良い一日となったのではないのでしょうか。

## JAに集う意味

Vol. 1

協同組合とは ～協同組合の成り立ちとその原則～

- 産業革命（1760年頃～1850年頃）により、産業の主役が個人から法人組織に変遷。それに伴い生産が大規模化し、資本をもつ人（資本家）、働く人（職人・労働者）に分けられ、前者に富みと力が集中した。
- 当時の時代背景において、国家レベルでは、経済力の増強が軍事力の強化につながり列強支配から国を守ることができたものの、子供や女性に過酷な労働を強いられるなどの人権問題や、汗水流し働く人が報われないなどの矛盾が顕在化した。そういった中において英国で協同組合は産声をあげた。

海外では産業革命により社会構造が大きく変革するなか、協同組合は産声をあげた

日本の協同（産業）組合思想の興り

### 当時の協同組合原則 （※ロッチデール原則）

- ①組合は1人1票の投票権による民主的運営とする。
- ②誰でも組合に自由に加入できる。
- ③出資に対する利子は固定され、制限される。
- ④剰余金は購買額に比例して分配する。
- ⑤売買は厳格に現金に基づき、信用取引はしない。
- ⑥純粋で混ぜりもののない商品だけしか販売しない。
- ⑦組合員を教育するためにも積立をする。
- ⑧政治および宗教に対しては中立を守る。

\*英国の小都市ロッチデールで設立されたロッチデール公正先駆者組合が定めた運営原則のことである。

協同組合の設立。

資本主義のひずみに対する働く人による自衛手段の必要性。

資本主義の台頭。

蒸気機関で生産力が爆発的に増大。

生産の大規模化が進展し、法人組織へ移行し、多額の資本の必要性が増大。

- ①強固な相互扶助組織だった農村共同体が揺らぎだす幕末期。
- ②五常講など。
- ③推譲という考え方  
＝財貨を自己のために消費し尽くすのではなく、仲間のために支出する行為。それは一方的な恩恵ではなく、必ず自らに返ってくるもの。

風呂桶の中の湯を手で押すとそれは自分の方へ戻ってくる



No.13

# GAPってなに？

◎前回に引き続き肥料に関するGAPの具体的な取組みについてご紹介します。

前回からのつづき

見えてきたもの？  
それな！

ムダを減らせるだけじゃなく記録があるからこそ長年やってたことを見返して考えてみるきっかけになったんだよ  
隣の池田くん

玉ねぎはごも前年と同じく◎kgでいいな...  
以前の辺野さん

**土壌診断処方箋**

今はGAPの手法を取り入れて土壌診断結果や過去の生産実績に基づいて、畑ごとに施肥設計をしているんだ

圃場ごとにあつた品質のバラツキも減って生産の底上げにつながった  
適切な施肥設計で環境保全に配慮した土づくりを行うことが

長年、経験とカンでやってきたことを明文化して残しておくこととして池田くんみたいな若い人にも伝えていけるしな  
勉強になるっス！  
JAの花田くん

## ちょっと発信 JAマニャー

発信No.55

J A職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

「雑学を学んで世界が変わった話」

管理部 営農企画課  
馬場 望

人間ってよく笑う人、声が大きい人、美声な人、動きが機敏な人などいろいろな特徴を持っている人がいますよね。私は特別なにもアピールするポイントがなかったの、社会人として世に出たときに少しでも武器になるようにするため、雑学を約五年以上勉強しています。

学び方ですが、雑学本、テレビ番組、インターネット、人が得意げに話していることを忘れないうちにメモを取るなどです。それらで得た情報で、人が驚きそうな情報を雑学メモに記入していくことを毎日のようにしていました。

私の中で、雑学を学ぶにあたって、特に気をつけていることは周りの人が求めていないタイミングで知識をひけらかさないことです。そのため、自然な流れで雑学を披露できるようにするために、10個覚えてようやく1個披露できるかできないかとなるのでとても地味な勉強でした。

しかし、雑学を学び始めて2年くらい経った頃には自然にその人、その場所に合った雑学を披露できるようになりました。今では、比較的初めて会話する相手でも打ち解けるのが早くなったと感じます。なにより、雑学を学んで一番大きかった変化は、どんな相手の話でも意識的に聞くようになったことです。最後になりますが、私のように特徴がない人でも地道にコツコツと学べば、誰でも雑学力はずきまますのでオススメな趣味です。これからはたくさんの方と会話をしながら農業分野に関しても詳しくなっていきたいと考えています。



馬場職員が愛読している本



## 行事予定表

8月1日(水)  
～8月31日(金)

8月 1日(水)  
聖徳太子奉賛会

8月11日(土)  
山の日  
閉組日

8月15日(水)  
お盆休み

8月16日(木)  
お盆休み

8月24日(金)  
第7回定例理事会

8月26日(日)  
農休日

## 第5回理事会報告

### 1. 固定資産の取得について

次の固定資産を取得することで承認されました。

○名称 電話交換機設備(事務所)

### 2. 組合員出資の減口について

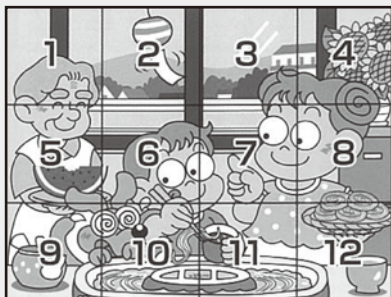
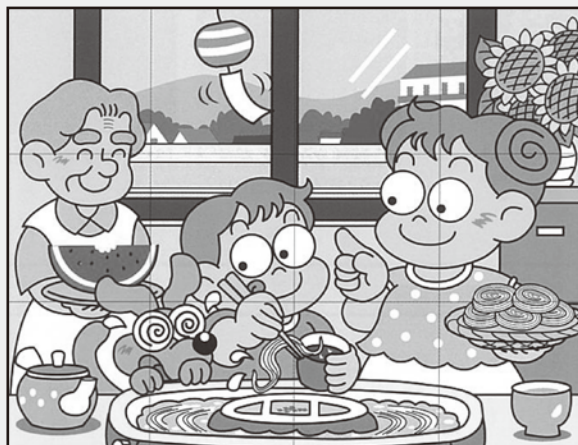
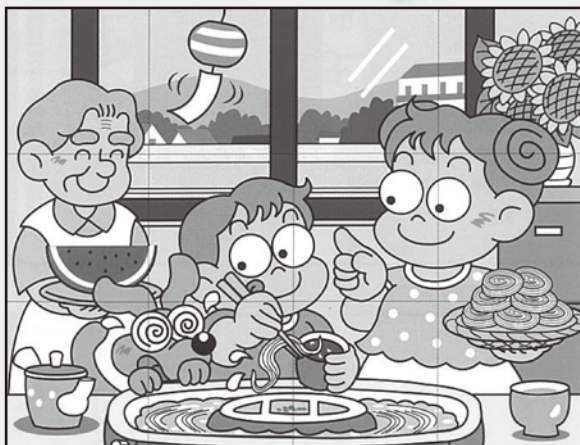
原案の通り減口することで承認されました。

### 〈報告事項〉

1. 常呂町産業振興公社決算報告について
2. 固定資産の取得について
3. 無形固定資産の取得について
4. 畑作構造転換事業(29年度補正)の申請について
5. 北見市所有車輛(夢里工房)の払下げ要請について
6. 平成30年度(平成29年産)収入減少影響緩和交付金(ナラシ)の決定について
7. 平成30年度 組織・地域リーダー研修「夢さがし塾」の実施について
8. 税務調査結果について
9. 平成30年度労働組合執行体制について
10. 農業委員会報告について

## まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、**カーリングクッキー**をプレゼントします。

### 先月の当選者・解答

7月号のクロスワードパズルの答えは「サヤインゲン」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

佐藤 富美子さん(豊川) ※ ( ) 内は地区名です。

## 読者の声

★クロスワードパズルが私の楽しみです。

(岐阜地区・不破 節子さん)

★楽しんでやっています！

(豊川地区・近藤 凜香さん)



# 日々の営農を記録し計画することが重要

## ～北見地区新規就農者交流研修会～



講師の菅崎氏

北見市、訓子府町、置戸町の就農3年以内の若手農業者を対象とした北見地区新規就農者交流研修会が7月3日、JAきたみらいセンター事務所会議室で行われ、新規就農者や関係者など45人が参加し、当JAからも共立地区の安藤聡さん、岐阜地区の松本一紘さんの2人が参加しました。

この研修会は、北見地区農業振興連絡協議会が主催となつて、農業の知識研鑽や情報交換などを図ることを目的に開催されています。研修会ではJAきたみらいの西川孝範組合長から開会挨拶のあと、講演会が行われました。

今年は、前JAカレッジ講師の菅崎秀弘氏を講師に招き「新規就農者の皆さんに期待すること」をテーマ



講演を聞く参加者の皆さん

に講演していただきました。菅崎氏は、JA北海道中央会に40年余り、JAきたみらいの常勤監事を2期にわたつて務められました。その後、2年間JAカレッジ講師として勤務し、退職した現在は週末に父から授かった畑で農業を行っています。

菅崎氏は、新規就農者に対し「地域の仲間づくりを大切にするこゝと、日々の営農を記録すること、関係機関職員に相談することはと



研修会に参加した皆さん(前から3列目の一番左が安藤さん、右隣が松本さん)

ても大切」と自身の経験を交えながらメッセージを伝えました。

研修会終了後は交流会が開催され、他地区の新規就農者と親睦を深めました。

### 編集後記

●収穫時期に差し掛かり、徐々に忙しさが増してきた頃かと思ひます。夏になり、暑い日が続いておりますので、体調が悪いと感じた時には無理をせず水分補給・休憩の時間を取り入れましょう！またこの時期になると農作業事故が増えてきます。急ぐ気持ちを抑え、機械の点検をする際はエンジンが確実に停止してから行いましょう。

《営農企画課：広報担当》

### 成年企画 ワンだふるファミリ～ 川東のアイドル犬チロと鈴木孝雄さん



今月の表紙は、日吉地区の鈴木孝雄さんと愛犬チロ(6♀)です。チロはとても人懐っこく川東のアイドルとして有名です。取材時、日蔭で休んでいたチロに近づいても吠えもせず体をなでさせてくれました。

孝雄さん曰く「チロは私のことが大好きで畑に行っても必ずついてくるからとても可愛い」そうで「ただ、車を怖がらないので車の下で良く居眠りをするから心配」と話してくれました。

これから近隣住民から愛されるアイドル犬として元気でいてください！お忙しい中、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。